

図書館員が選ぶおすすめの本

～幼児向け（3,4,5歳）～



絵本の読み聞かせは、お子さんの心や言葉を育てます。
 3歳くらいになるとストーリーのあるお話もわかるようになり、
 絵本読み聞かせ黄金期！ともいえます。
 寝る前は読み聞かせをするなど、親子で本を楽しむ時間を
 ぜひ作ってください。



「科博の絵本 くらべて わけて ならべてみよう！」

国立科学博物館 // 作 見杉 宗則 // 絵 創元社

こくりつ かがくはくぶつかんには おもしろそうなものが たくさん あります。
 たくさんの おもしろそうなものは どのように くらべて、わけて、ならべられて
 いるのでしょうか。
 いろんなものを「くらべて」「わけて」「ならべて」みたくなる えほん です。

「かがみのえほん きょうのおやつは」

わたなべちなつ // さく 福音館書店

うへのページのえと したのページのえが かがみのようになって
 ひとつのえ になる たのしい えほん です。

ボウルに たまご こむぎこ おさとう ぎゅうにゅう ぜんぶいれて・・・。
 よむと おやつを つくりたく なるかも。



「ぼくのおじいちゃん」

マルタ・アルテス // 作 よしいかずみ // 訳 BL出版

だんだん としをとってきた くまのおじいちゃんと、おじいちゃんが だいすきな
 ぼくの おはなし。おじいちゃんは、ひとりでいると さみしくなったり、ぼくのことが
 わからなくなっちゃうこともあるんだ。でも そんなときは ぼくのでばん！

「おひめさまはねむりたくないけれど」

メアリー・ルージュ // さく パメラ・ザガレンスキー // え 浜崎絵梨 // やく そうえん社

これは なかなか ねつかない おひめさまの おはなし です。
 パジャマにきがえて かおを あらって はを みがいて
 おふとんにもぐって・・・。だけど まだ ねむりたく ありません。



※対象年齢は目安です。



※裏面もごらんください。



図書館員が選ぶおすすめの本

～幼児向け（3,4,5歳）～

「かわはながれる かわははこぶ」

かこさとし // 絵と文 農山漁村文化協



ちきゅうのうえのみずがながれる
みち、それがかわです。
かわがどのようにできあがるか、
どんなやくめがあるのかわかる
えほんです。

「おでかけ どうぶつえん」

阿部浩志 // ぶん 北村直子 // え
成島悦雄 // かんしゅう学研教育出版



どうぶつえんにはきりん、
しまうま、かば、などたくさんの
どうぶつがいます。
どうぶつたちのからだのしくみや
くらしのひみつをしょうかいします。

「はじめてであういきもののふしぎ なにかいる！ どこにい

ネイチャー&サイエンス // 編 河出書房新社



たかいきのうえ、うみのそこ、
いろんなところになにかが
かくれています。
どこにいるのかなにかいるのか
さがしてみましよう。

「ほしじいたけ ほしばあたけ」

石川基子 // 作 講談社



ほしいたけのほしじいたけと
ほしばあたけ。きれいなことは
みずにぬれることです。
あるひがけからおちたこどもを
たすけるためにきれいなみずにつ
かります。すると…。

「うれしいやくそく」

くすのきしげのり // 作 いしいつとむ // 絵
廣濟堂あかつき



わくわくやまへ えんそくにいくひ、
キツネくんはあしをけがしてしまい
えんそくにいくことができません。
ひとりさみしくおもっている
キツネくんですが…。

「わらべうたであそびましょ！」

さいとうしのぶ // 編・絵 のら書店



たあちゃんがかがみのまえで
あそんでいるといろいろな
ともだちがやってきます。
「あがりめさがりめ」「だるま
さんだるまさん」などたのしい
わらべうたのえほんです。

「いただきますーす！」

二宮由紀子 // 文 荒井良二 // 絵 解放出版社



“たべものってどうやってできて
いるの？たべるってどんなこと？”
たべることについてわかる
えほんです。

「子うさぎジャックとひとりぼっちのかかし」

バーナデット・ワッツ // 作・絵 福本友美子 // 訳
徳間書店



子うさぎジャックはキャベツ
ばたけでひとりぼっちのかかしに
であいます。
ジャックとかかしのやさしい
ふれあいのおはなしです。